

令和7年度「ひろしまスタイル定住促進事業」の実施状況等について

1 要旨・目的

東京圏等からの移住者の獲得を進める「ひろしまスタイル定住促進事業」について、令和7年度の実施状況等を報告する。

2 現状・背景

東京圏への一極集中により、地方から東京圏への人口流出に歯止めがかかっていない。

このため、東京圏等からの移住者の獲得に向けて、「広島らしいライフスタイルの魅力発信」や「移住希望者と地域のマッチング」、「移住者に対する受け皿づくり」に、市町等と連携して取り組んでいる。

3 概要

(1) 対象者

東京圏を中心とした移住希望者、市町

(2) 事業内容（実施内容）

ア 広島らしいライフスタイルの魅力発信

- デジタルマーケティングの手法も活用した移住ウェブサイト「HIROBIRO.」やSNSによる情報発信
- 市町や企業等と連携して個別相談等を行う移住フェアの開催（2回、集客数560組）
- 食の魅力や転職、地域おこし協力隊など、様々なテーマによる移住セミナーを、オンラインを中心に開催（13回、集客数1,151人）
- 企業との連携による転職フェアに広島県紹介ブースを出展し、広島での仕事を紹介（3回、集客数25人）

イ 移住希望者と地域のマッチング

- 東京相談窓口での相談対応を実施（相談件数1,697件）
- 人材紹介会社同席による相談会を開催（オンライン3回、対面7回）
- 移住チャットボット「あびいちゃん」による移住熟度や興味関心に応じた移住行動の提案
- 移住を促進するための来広支援（片道交通費支援64組）

ウ 移住者に対する受け皿づくり

- 外国人対応など目的別に広域エリアを担当している移住サポーター（2名）や担当市町に関する相談に応じている地域コーディネーター（17名）が、移住希望者とのオンライン面談、現地アテンドなどを実施（29組中3組が移住）
- 移住支援金・起業支援金の交付

移住支援金	令和6年度：54件	⇒	令和7年度：54件
起業支援金	令和6年度：3件	⇒	令和7年度：5件

(3) スケジュール

—

(4) 令和7年度当初予算（国庫・単県）

142,507千円（うち国庫40,460千円、単県102,047千円）

(5) 事業効果・検証結果

区 分		令和6年度	令和7年度	
【ワーク目標】 県外からの移住世帯数	実績 (目標)	712世帯 (665世帯)	718世帯 (733世帯)	
	県捕捉分	実績	94世帯	65世帯
	市町捕捉分	実績	156世帯	189世帯
	オンライン捕捉分	実績	462世帯	464世帯
【事業目標】 相談件数（イベント時の相談を含む）	実績 (目標)	3,914件 (3,700件)	3,527件 (3,700件)	
【事業目標】 HIROBIRO. ユーザー数（広告流入分を除く）	実績 (目標)	—	104,020人 (81,499人)	

- ・ 令和7年度については、移住の決め手を「仕事」と考えている人が多いことを踏まえ、「仕事」をテーマとした移住フェア・セミナーの開催に注力した。
- ・ 県外からの移住世帯数は、県・市町の一体的な取組により昨年度に比べ増加したが、東京相談窓口で相談に来る「暮らし」に関心が高い人の相談件数が減少したことなどにより目標未達となった。
- ・ HIROBIRO. ユーザー数は、「仕事」をテーマとした移住フェア・セミナーの取組や、デジタルマーケティングの手法を活用した情報発信などを行った結果、目標を達成した。

(6) 今後の対応

- ・ 東京圏等からの移住者の獲得に向けて、引き続き「魅力発信」、「マッチング」、「受け皿づくり」の取組を市町と連携して進める。
- ・ 移住フェアは「暮らし」をテーマに開催し、幅広い移住希望者の獲得を目指すとともに、「仕事」を求める相談者に対しては、民間企業と連携した転職相談会等や、「仕事」をテーマとした移住セミナーへ誘導するなど、移住希望者の移住熟度や興味関心に合わせた対応を行う。

4 その他

移住ウェブサイト「HIROBIRO.」

<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/>